

佐賀工場が竣工

「地域貢献に徹したい」

ポラテック

ポラテック（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）が、佐賀県唐津市で建設を進めてきたプレカット工場のレインボーフィールド（ポラテック西日本佐賀工場）が完成し、21日に「佐賀工場見学会・竣工披露パーティー」が開かれた。取引関係者ら約350人が出席した。

佐賀工場の延べ床面積は1万5334平方メートル。生産効率が良い最新鋭設備を整え、構造材の加工能力は月間1万坪だ。

工場見学の後、竣工披露パーティーが開かれ、あいさつに立った中内社長は「当社にとって5つ目の工場にな



中内 社長

決断した。ポラスグループでは住宅事業を埼玉、千葉で行っている。仕事は地域密着で取り組み、地域への貢献に徹したい。プレカット事業はそれぞれの拠点がその地域に受け入れられ、地域発展のために役立つように活動する。今回の唐津は海に近く、佐賀県や唐津市から熱心に誘致し

てもらい、開設に向けてフォローしてもらえ、ることから決断した。唐津をはじめ九州から22人を雇用し、地域の若者と苦勞しながら成長していく佐賀工場を描いている」と話した。

北大路康信ポラテック専務は事業説明を行い、「現状、佐賀工場は月間50〜60棟の生産だが、すぐに300棟、500棟と生産量を伸ばし新しい工場を建設したい。日本一のプレカット企業として地域密着の工務店やビルダーと一緒にやっていくことが目標になる。我々は九州を知らないが、地域のカルテを持っていく材木屋や木材問屋、建材問屋から地元の情報を聞いて取り組みたい。我々は

プレカットしかやらない。営業マンに言っていることは、プレカットのバカになれ、それ以外のことをやるな。プレカットの図面からは25〜26工程があるが、木造軸組の建て方のほかは取引先にやってもらう。こういう形で全国展開してきた。構造計算や壁量計算、そのほか地震でも倒れない家づくりに役立つたい」と話した。

来賓祝辞では山口祥義佐賀県知事、柴田敏晶伊藤忠建材社長が佐賀工場の竣工をたたえ、峰達郎唐津市長が乾杯の音頭を取った。